



知的・発達障がい者福祉サポーターズ

ドリームプラン・プレゼンテーション実行委員会

2014 年度 事業報告書

[期間：2014年1月1日～2014年12月31日]

はじめに

知的・発達障がい者福祉サポーターズ ドリームプラン・プレゼンテーション（略称：さぼ☆どり）実行委員会では、知的・発達障がい者福祉に関わる人々が、「1 人 10 分間、社会貢献度が高く発展性のある事業に従事する人が、その事業が社会に広まるとどんなシーンが起こるのかを発表し、共感を得て、支援者を集める事を目的としたドリームプラン・プレゼンテーション」へ、支援者や発表者といった様々な立場で関わることを通して、虐待防止のメンタルヘルス機能、ひいてはヒューマンサービス・プレゼンターとしての福祉職に対するモチベーションを向上させ、「福祉 = 幸せ」との前提に立ち、障がいの有無に関わらず、誰もが安心安全に暮らせる社会の実現へ大きく貢献することを目的とします。具体的な活動指針は次の通りです。

Mission 福祉をよりよくすることを自然の営みと考え行動する

Vision 福祉の魅力を語り応援し合い、輝く個性で未来を拓く

Policy 「さぼ☆どり」を方法としたメンタリング・マネジメント実践講座

ご挨拶

多くの人達のご支援を受けて、知的・発達障がい者福祉サポーターズ ドリームプラン・プレゼンテーション 2014（さぼ☆どり 2014）を終えることが出来ました。心から感謝申し上げます。

まだ、私の中では「終わりたくない、このメンバーとなら大きな夢をともに見ることができる」と興奮状態が続いております。

毎日新聞 23 区版（2014 年 11 月 17 日）でもカラー写真で紹介されています。昨年福祉業界で虐待報道が止まない中、様々な研修が行われ、その中でも、「さぼ☆どり」というムーブメントが紹介されました。

「私達は、どんな人に支援を受けたいのでしょうか？」「親御さんはどんな人にお子さんを託したいのでしょうか？」

「セルフイメージが高く、この仕事が好きで、福祉の未来をまざまざと描ける人」に支援を受けたいのではないのでしょうか。

「さぼ☆どり」の仕組みは、心理学、脳科学等の要素を取り入れた根拠のある現実的な人材育成の手法ですし、プレゼンターだけでなく関わるすべての人達が目の前で「勇者」になっていきます。

福祉の世界こそ必要なことだと思います。夢を語れない業界は廃れます。今回、遠方からも多くの方が駆けつけてくれました。

「さぼ☆どり」という仕組みで安心に包まれた相互支援社会を作っていきましょう！

感謝でいっぱいです。ありがとうございました。

知的・発達障がい者福祉サポーターズ
ドリームプラン・プレゼンテーション 2014

実行委員長 阿部美樹雄

事業トピックス

■メンタリング・マネジメント実践講座（全7回）

日本の福祉に真剣に向き合い、その成長と発展に挺身してきた「福祉人」が集まり、これからの福祉を担う人材育成について考えた時、一つのテーマが見えてきました。

「福祉の魅力を語り応援し合い、輝く個性で未来を拓く」…福祉に関わる人々が、福祉の魅力を語り応援し合うことを通して、一人一人の個性が輝き、使命感を持って充実した職務や生活をおくることができます。

そして、具体的に講座を構築する上で「メンタリング・マネジメント論」を基本軸と決めました。

人は人との関わりの中で、気づき・学び・成長して生きていくことを前提とした時、その関わりにおいて相手と対面するのではなく、横に座り、信頼関係を構築して、共に成長を目指す「メンタリング」の在り方を基本とするこの理論は、組織の成長と発展に係る従来の理論的限界を超える可能性を秘めたものでもあります。

各講座は毎回異なったテーマのもと座学とワークによって構成されますが、その底流には綿密に計算し尽くされたロジックがあり、参加者は「主体性」に比例した「応用力」を体得していきました。

以下、各講座ごとに気づきと学びを整理します。

	テーマ	日 時
第1回	メンタリング	2014/7/5 (土)
第2回	ミッションとビジョン	2014/8/2 (土)
第3回	自立型姿勢	2014/9/20 (土)~21 (土)
第4回	アクションプラン	2014/10/4 (土)
第5回	相互支援のパワー	2014/11/1 (土)
第6回	見本・信頼・支援	2014/11/14 (金)
第7回	さぼ☆どり (発表会)	2014/11/15 (土)

第1回 メンタリング・マネジメント実践講座 『メンタリング』

実施場所 (社福) 滝乃川学園 石井亮一・筆子記念館 (東京都国立市谷保 6312)

実施日時 2014年7月5日(土) 13:00~18:00

参加人数 60名

事業の対象者 福祉関係者(施設経営者、施設職員、企業経営者、企業社員)、市民

【気付きと学び】…「心の在り方」を整える

今回、全体を通しての講座名に「メンタリング・マネジメント」とあることからも分かるように、講座に一貫した動態的姿勢（段階論ではなく発展論を意識）が見て取れます。どのような組織においても、継続的な成長の為には構成員の主体的な行動が重要になりますが、その主体性は背景に何があるかで意味合いと結果が大きく異なります。

人が主体的に動く（自立した人として成長する）上で大切な鍵が「感動」と「共感」であり、それは相手と自分が心を同じくした時に、自然と伝わり広がるもの。

例えば、人は職務において共に活動する相手を理論理屈で動かすことはできても、その結果としての成果は良くて「足し算」であり、これは「頭」でのみ繋がっている状態です。ここでは主体性が個々の努力においてのみ発揮されるので、組織の構成や成長は不安定なものとなります。

逆に、自分が心を開き、ありのままの自分をさらけ出し、相手の目線（立場）に立って語り合う中で形成される関係性においては、個性と個性がぶつかり合わず相互補完と相乗効果により高まり合うので成果は「掛け算」となり発展的な成長が見られます。ここでの繋がりは「心」です。このように、先ず初めに「心の在り方」を整える大切さを学びました。

第2回 メンタリング・マネジメント実践講座 『ミッションとビジョン』

実施場所 (社福) 滝乃川学園 石井亮一・筆子記念館 (東京都国立市谷保 6312)

実施日時 2014年8月2日(土) 13:00~18:00

参加人数 65名

事業の対象者 福祉関係者(施設経営者、施設職員、企業経営者、企業社員)、市民

【気付きと学び】…「価値」を意識する

市場経済における企業の継続的な発展方法としてのオープン・イノベーションやサプライ・チェーン・マネジメント、また組織論におけるタックマンモデルでは「信頼」関係の構築が鍵となりますが、要素論や段階論を越えた発展論としての完成は難しいものでした。

社会福祉業界の公益主体も「聖域」と安心できない時代にあって、その存在意義を社会へ発信していく必要性が高まる中、経済活動の本源が福祉へとシフトすることも重なり、福祉力の向上は社会全般に対してもプラスの効果を生むものとなります。

他者との関係性を強化する方法として、今回は「(事業の) 価値」を意識することの大切さを学びました。全ての財は価値を持って初めて社会的有用性が発揮されますが、それは人もモノも同じ。夢を発信する際、自分の考えを出すことは同意を得る(頭レベル) ことにはつながるが、共に行動したいという強い共感や感動(心レベル) へ至るには、他社(相手)の立場(状況、価値観、思考)に立って、素材を選択し加工し発信することが重要であると。

第3回 メンタリング・マネジメント実践講座 『自立型姿勢』

実施場所 (社福) 滝乃川学園 石井亮一・筆子記念館 (東京都国立市谷保 6312)

実施日時 2014年9月20日(土) 13:00~9月21日(日) 18:00

参加人数 60名

事業の対象者 福祉関係者(施設経営者、施設職員、企業経営者、企業社員)、市民

【気付きと学び】…自身の「内なる声」との対話

眼前に迫る課題(危機)に対して、「危(やっかいなもの)」を意識して楽に切り抜けようとするか、「機(自分を成長へ導くチャンス)」を意識して率先して向かっていくか、その選択は自由であり個々に委ねられています。

「夢に向かってひたむきに前進する姿」は美しく、その姿は、多くの人を惹きつけ、共に夢の実現を目指す仲間を増やします。

その様は、単に11月15日のプレゼン発表を目指すに留まらず、確固たる信念を持って、しっかりとその先を見据えて、力強く歩を運ぶ「勇者」です。勇者には「賢者(支援者)」が援けとなり、大きく道が拓く。まさにラポールを基盤とした相互支援です。

自立型姿勢の人は、決してあきらめません。それほど強い信念(あきらめない理由)があるから。そこに共感した仲間がいるから。自分は一人ではないことを知っているから。安心して自分をさらけ出せる安全な場があることを知っているから。それを充実体験といえます。

充実体験は心が喜びで満たされた状態であり、そうした状態を味わい、その自分を内観することを通して、自立型姿勢も強化されます。支援会では、その仕組みを理屈(知識)ではなく、感謝を形に表すワークを通して、自身の内なる声との対話レベル(智慧)で覚ることを学びました。

第4回 メンタリング・マネジメント実践講座 『アクションプラン』

実施場所 (社福) 滝乃川学園 石井亮一・筆子記念館 (東京都国立市谷保 6312)

実施日時 2014年10月4日(土) 13:00~18:00

参加人数 70名

事業の対象者 福祉関係者(施設経営者、施設職員、企業経営者、企業社員)、市民

【気付きと学び】 … 「ありのままの自分」を探求する

事業やプロジェクトを進める上では、様々な人との関わりが存在します。想いを同じくする心から信頼できる仲間との良好な関係性、それは誰もが求め目指すものです。

今回の講座では、「自立型問題解決法」をワークから学びました。各人の夢を中心として、立ちはだかる課題を明確にイメージした上で、「プラス受信」と「自己責任」の観点から具体的な解決法を考察するという一連のプロセスを通し、真の仲間（支援者）を集める手法であり、大事なことは、自分自身を深く掘り下げ、「ありのままの自分」を探求することにあります。

迫りくる課題から自分にとっての成長のチャンスを考え（それは時に支援者の出番創出にも繋がり）、将来に対して、自分が直接間接に何をできるか考える、その姿勢と行動を覚悟を持って継続することで、問題が課題ではなく自らを成長へ導く糧と見えてきます。

第5回 メンタリング・マネジメント実践講座 『相互支援のパワー』

実施場所 (社福) みずき福祉会 町田福祉園 体育館 (東京都町田市図師町 971-2)

実施日時 2014年11月1日(土) 13:00~18:00

参加人数 65名

事業の対象者 福祉関係者(施設経営者、施設職員、企業経営者、企業社員)、市民

【気付きと学び】 … 「心の殻」を破る

人は究極的には経済的な利益よりも心の満足度に行動へのモチベーションが作用します。意識せずとも魅かれる人とは「夢に向かって、ひたむきに前進する大人」であり、真剣に自分と向き合い、真心で他者と関わり、広く社会に目を向け、正しく未来を見定め、勇気を持って力強く歩き続ける人です。自立型人材であり、メンターとも表現できます。

そこに自然と集う仲間（応援者）は、主体的であり、両者の間に主従はなく、あるのは信頼を基盤とした相互支援の関係です。本講座は、プレゼン発表者がいて、その応援をする会（シリーズ化された準備会）ではなく、応援者であっても、時に発表者以上に「もがき、悩み」ます。そのことに真剣に取り組むことで自らの殻を破り、成長した自分を実感でき、喜びが湧きおこります。歡んでいる自分に気づき驚きます。この時、向き合う夢は誰のものという意識は超えています。

自らの殻は観念的な理論理屈では破れません。そこには他のために全身全霊かける自分が必要で、支援会はそのような相互支援の場に溢れ、知らずのうちに自らの魂が磨かれ、視野が広がり、大きな成長へと至れます。損得勘定といった表面的な経済原理を越えた人間性そのものが相互支援力の本質です。

第 6 回 メンタリング・マネジメント実践講座 『見本・信頼・支援』

実施場所 (社福) 滝乃川学園 石井亮一・筆子記念館 (東京都国立市谷保 6312)

実施日時 2014 年 11 月 14 日 (金) 13:00~18:00

参加人数 70 名

事業の対象者 福祉関係者 (施設経営者、施設職員、企業経営者、企業社員)、市民

【気付きと学び】…「五感」を超えた気付き

現代資本主義社会を前提とすると、多くの人は一人では生きていけません。そこでは共通の枠組み (制度、文化、風習、環境) の中で、様々な人 (情報) との関わり (関係性) の中で生きていくことが普遍となります。

その中で「福祉の充実した生活」を送れることは幸せなことですが、日々対するプラスやマイナスの出来事に影響されない安定した心境を覚り得ていくことは、頭ではイメージできても実際には容易なことではありません。

メンタリング・マネジメントでは、自分の心を外的に抑制する「ポジティブ思考」ではなく、社会の仕組みを前提とし、より良い関係を形成する上でのメンターを目指すに際し、他者依存ではなく自己責任の姿勢の表れとしての「プラス受信」の大切さを説いているところに論理的整合性が見て取れます。全てに感謝できる自分がいるから、Win-Win 関係も築けるのです。「感情 (自利) 論」ではなく「感動 (利他) 論」であるところに大きな価値があります。

本講座では、「心」を拡げ大きく成長させる上で様々な角度から見つめなおしたり、数多くのワークを重ねてきました。

そこから、普段「心」について感じる時は喜怒哀楽が一般的ですが、それらは一時的なものであり、本当に心の成長につながる瞬間は、五感を超えたところの「奥の部分 (六感、七感) 」での気付き (覚り) によることが見えてきました。

第 7 回 メンタリング・マネジメント実践講座 『さぼ☆どり 2014 (発表会) 』

実施場所 文京学院大学 仁愛ホール (東京都文京区向丘 1-19-1)

実施日時 2014 年 11 月 15 日 (土) 13:00~17:00

参加人数 300 名

事業の対象者 福祉関係者 (施設経営者、施設職員、企業経営者、企業社員)、市民、学生

【夢へのスタートライン】…「感謝」と「報謝」

2014年7月から11月までの5ヶ月間、徹底した自分磨きをおこないました。自分の心を見つめ、自分の心と対話し、ひたすら前に歩き続けました。そこには気付けば、自分を支えてくれる沢山の仲間がいました。相互支援の和が広がっていました。

「みんな大好き！」…この言葉には「自分自身」も含まれています。自分の全てを認め受け入れたからこそ、自信を持ってそう言えるのです。

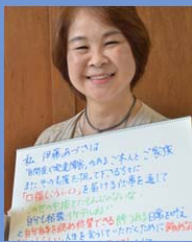
自分の目で世の中を正しく見て、自分の頭で目標を具体的に定め、自分の足で前を向いて歩いていく。彼らは、未来を拓くメンターです。

プレゼンは互いに出来を競い合うものではなく、自分に関わる全てに感謝を伝える行動です。発表が始まりです。

さぼ☆どり 2014 タイムテーブル	
13:00	開会 ~ オープニングムービー
13:05	開会宣言 ~ 実行委員長
13:20	プレゼンテーション (3組)
14:05	休憩 (15分)
14:20	プレゼンテーション (3組)
15:05	休憩 (10分)
15:15	プレゼンテーション (3組)
16:00	投票・休憩 (15分)
16:15	総評・表彰 ~ エンディングムービー
17:00	閉会


【プレゼンター紹介】～当日の発表順～

After Rain 共に生きることを学ぶ			
 <p>No.1 飯間 祐太</p>	事業の概略	ビジョン	いじめや差別を生まない世の中をつくる
		ポリシー	「頑張る人を笑わない社会」をつくる
		事業内容	学校で、「普通」について考え直す授業を行う
時添人 (ときそいびと)			
 <p>No.2 渡邊 祐</p>	事業の概略	ビジョン	知的障がいに関わる全ての家族にとって、今後の人生が楽しみになる
		ポリシー	その人が人生を楽しむための最高の伴奏者であること
		事業内容	三人一組体制での人生という枠で考える長時間サポート、支援ネットワーク作り



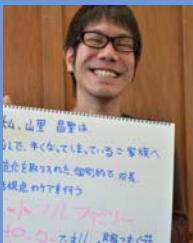
「幸せ配達人」創生プロジェクト …「美味しい！」から広がる生き抜く「希望」

No.3 伊藤 あづさ	事業	ビジョン	「美味しい！」から広がる生き抜く「希望」と届ける「幸せ配達人」創生
	の	ポリシー	口の中から広がる「幸せ」を届け続ける
	概略	事業内容	「食」を中心にした就労支援の場・療育の場




守りたい大切な「命」～笑顔～

No.4 井出 真一	事業	ビジョン	辛い状況にあってもクラウン（ピエロ）を通して「笑顔」「夢」「癒し」のエネルギーを貰い、明日への希望の「小指を優しく握って貰う」安心のサインが広がる世界。
	の	ポリシー	人に喜んでもらいたい。信頼関係を築き楽しい時間を提供。
	概略	事業内容	クラウン（ピエロ）を通じて大切な人を笑顔で守る。命の尊さを伝える。



『つむぐ』プロジェクト

No.5 山里 昌聖	事業	ビジョン	親と子が互いを尊び、互いの想いを大切にし、伝える
	の	ポリシー	根本的な思いへの確信、相互発信、相互受容、自立の視点
	概略	事業内容	親と子の想い、人、出会いをつむぐプロジェクト



P活リーダーズ ～ここに愛がある～

No.6 櫻井 基樹	事業	ビジョン	お父さんの愛は、家族みんなが笑顔にあふれ、自分らしく暮らせる社会を作ることを後押しする！
	の	ポリシー	①ペアレンティング、②ポジティブ、③パッション、④パーソナル、⑤プレイ、等
	概略	事業内容	P活リーダーズ（障がい児・者の父親が気軽に集えるコミュニティ）

		<h3>とことん大学 ～障がいと社会をつなぎ、夢を叶える大学～</h3>	
No.7 藤波 悠司	事業 の 概略	ビジョン	障がいのある方自身のご家族、ご兄弟に安心な社会を届ける！社会に障がいのある方々の素晴らしさを伝え、彼らが持つ力が社会に生きることを証明し、社会の在り方を変える！
		ポリシー	①とことん好きなことをする！②とことん本気でやる！③とことん楽しむ！④とことん人のために生きる！⑤とことん友として寄り添う！
		事業内容	大学の授業を通じ、障がいを持つ方々の能力が社会とつながるポイントを見つける。
		<h3>自由の翼で壁の向こうへ！ 私はピアサポーターになる</h3>	
No.8 左座 舞子	事業 の 概略	ビジョン	当事者も支援者も誰でも心のより所ができる場所の提供
		ポリシー	誰一人も孤独にさせない皆を幸せにする
		事業内容	全国にピアサポータールームが展開
		<h3>しあわせカウンセラー育成プロジェクト</h3>	
No.9 加藤 史子	事業 の 概略	ビジョン	誰もが心からの笑顔で生きていける世の中を実現する
		ポリシー	君が、心から笑える世界を。
		事業内容	すぐに実践できる心の取扱い説明書を手渡す講座の開催

※上記の紹介内容は、2014年11月15日のプレゼン発表前に作成した『さぼ☆どり 2014 パンフレット』を基にして、誌面の都合から事務局にて簡略化したものです。よって、より正確かつ最新の情報を入手希望の方は、巻末に記載の「さぼ☆どり事務局」までお問い合わせください。必要に応じて、発表者本人とのコネクトをさせていただきます。

【当日の様子】





【当日の感想】～アンケートより一部抜粋～

- ・若い人の夢に親の身は、残る障害児を託せるような気分になりました。(70代・男性)
- ・「志が高く、夢を現実にすべく、様々なプロセスを持った方がプレゼンする姿を見て、聞いて、自分自身変わるきっかけになったと思います。(40代・男性)
- ・逆境の中で必死に頑張っている姿に感動しました。(70代・男性)
- ・知的・発達障がい者福祉のサポーターというテーマではあるのですが、発表前の講座の時からも感じていた、普遍的な「人」の大切さにつながるプレゼンばかりで、だからこそ我がごとのように聞いてしまうのだなあと思いました。(40代・女性)
- ・身近な人に障がいがあったり、ご自身が生きづらさをかかえているプレゼンターの熱い思いが真っ直ぐに届きました。その思いを形にして、是非実現して頂きたいと思いました。(50代・男性)
- ・皆さんが夢を表現している姿がすてきでした。(30代・女性)
- ・自らの辛い体験や受け入れがたい現実等、皆さんのその中から自分なりの答えを見出し、未来に向かって歩みだしている姿に感動しました。これからも沢山の人の笑顔のために頑張ってください。(50代・女性)
- ・多くの現場のスタッフに聞かせたいです。きっと「力」になります。(60代・男性)
- ・それぞれの個性が出ていて、とても良かったと思いました。次回、出てみたいです。(30代・女性)
- ・プレゼンを聞き、自分の今後の日常が少しかもしれないけれど変わるような気がします。(50代・女性)
- ・参加している皆さんからも優しいエネルギーを感じました。これからも継続を望みます。(40代・男性)
- ・プレゼンター、かっこよかったです。5ヶ月で人は変わる、その姿を見させて頂きました。(30代・男性)
- ・福祉に関わる多くの方々が夢や目標を語り、それを支える仲間を作る素晴らしい会だと感じました。プレゼンターがご自身の経験から「社会をよりよくしたい」という熱い思いが伝わってきました。(30代・男性)
- ・皆さんそれぞれ福祉に対する想い、人に対する想いがある、それぞれに熱くて、これがもっと福祉全体に広がって、福祉がいい仕事、いい世界になる。プレゼンターはそんな大切なメッセージを発しているように感じました。(60代・男性)
- ・今年も全員素晴らしかったです。生きる力を感じました。そして必要な幸せを感じました。(40代・男性)
- ・大人が夢を語る場所って、全くないように思います。なので今日はすごく感動しました。プレゼンを聴いて涙する人、奮い立つ人、未来の福祉は明るい嬉しくなりました。(20代・女性)
- ・夢に向かって本気で生きる大人を見て、心がふるえました。(30代・男性)
- ・プレゼンターを支える仲間の存在の大きさと役割に感動しました。(40代・女性)

- ・障害者施設で働いていて、利用者の将来は毎日のように考え悩んでいます。「じゃあ、私の将来は？」というのを今日真剣に考える機会となりました。私は障害者の方の夢を叶える伴走者となり、もっと笑顔が溢れる優しい社会にしていこうと思いました。(20代・女性)
- ・各プレゼンターが生き方に悩み、子供が生まれて障害を持つ悩み、それらを周りにいる仲間に助けられ、強い信念で情熱を持って努力するプレゼンテーションに感動しました。(70代・男性)
- ・夢は見るもの、語るものと思っていましたが、語って現実にできることは素晴らしいことだと感じました。人の幸せのため、自分の幸せ、考えていたら「応援」したくなりました。(20代・女性)
- ・家族に帰ってからありがとうを伝えたいと思いました。(20代・男性)
- ・私は物事をマイナスに考えてしまうことがよくあるのですが、みなさんのプレゼンをきいて、そうじゃないと思うようになりました。皆さんも自分を否定したり、人にあたってしまったりしてきた経験もあるんですね。それを認めたからこそ、夢を語れるようになったのかなと思います。ありのままの自分を認め、人を認め、大きな人間になりたいです。(20代・女性)
- ・ご自分の障害、ご家族の障害、苦難を乗り越え、それを同じ苦しみをもつ方々に優しい手を差しのべられている素晴らしい活動です。政府・行政ではできない身近な支援は大切です。私は多忙で時間がとれないは言い訳に過ぎず、できることから支援をさせて頂きたいと考えます。(60代・男性)
- ・世の中には色々な人がいて、色々な考え方があることを改めて実感し、自分が支援する仕事についての意味や原点を振り返る必要性を感じました。(30代・女性)
- ・共感してくれる人がいるということが、社会では何よりの強みですね。(40代・男性)
- ・勇気をいただきました。ありがとう。感謝の言葉しか思いつきません。(40代・男性)
- ・私自身自閉症の息子がおり、孤独を感じる事が多い中で、こんなにも明るい未来を目指す人が沢山いることを知り、あたたかい気持ちになりました。(40代・女性)
- ・とても素晴らしい発表でした。笑顔、愛がいっぱいでした。(50代・男性)
- ・感動しました。夢を描くこと、過去をしっかりと受け止めること、自分の可能性を信じること、沢山のことが胸に響きました。皆さんのひたむきさに涙が出ました。ありがとうございました。(20代・女性)
- ・障害を持つ子を持つ親の力は偉大で、職員はほんの一部の手助けをしているに過ぎないと感じました。(50代・女性)
- ・共感できることやなるほどと思うことがあったり、それぞれの想いに胸があつくることがありました。(20代・女性)
- ・この活動団体のことをもっと知りたいと思いました。(50代・女性)
- ・福祉に携わる人は皆同じ感性や方向を持っていると改めて感じました。(40代・男性)

■メンタリング・フード

「さぼ☆どり」には「メンタリング・フード」と呼ばれる魅惑の食べ物があります。食べると思わず笑顔になって、周囲に応援できる人を探して動き出したいと、とにかく何かしたくてうずうずしてしまいます。

その秘密は、作り手の愛と社会を輝かせる夢に溢れた食べ物だからです。毎回のメンタリング・マネジメント講座に登場し、参加者のココロとカラダに沢山の元氣と勇氣と幸せを与えてくれました。ここに販売店舗と共に紹介させていただきます。

#.1 「八王子平和の家」 煮たまご

沢山の愛情を受け、伸び伸びと育った鶏から生まれる新鮮なたまごを、慈愛に満ちた真心を込めて煮込んだたまごは、福祉人の心を優しく包み込んで魅了する！



#.2 「BAKUBAKU」 炭火焼ジューシーチキンバーガー

味わい深いソースが、こだわり抜いた個性豊かな肉・パン・野菜をそれぞれ引き立てつつも上手く調和させ、一口食べると口の中が夢と幸せで一杯になり、感動の涙が止まらない！



#.3 「ふくらん」 たまごたっぷりシュークリーム

濃厚な「こだわりたまご」の旨みを存分に引き立てる「きんたろう牛乳」、その両者のバランスが絶妙なハーモニーを生み出すカスタードクリームとこんがり焼いたシューの香ばしいさくさく食感が抜群の相性！



#.4 「さわや」 夢らんまん

安心して全てを委ねたくなる優しさに満ちた餅粉の外皮、地元の新鮮卵を使った甘さ控えめ大人の黄身あん、カナダ産厳選ワイルド種高級ブルーベリーの奥深い酸味、優しさ、頼もしさ、たおやかさに脱帽！



#.5 「Schale おおまち」 おおまちロール

口に入れた瞬間、素材の優しい甘さと作り手の込める深い愛、そして障害の有無に関わらず共に安心安全で幸せいっぱい社会を創る！という関係者全員の力強い信念が身体を走り抜け、しばし放心状態！



#.6 「れのあ」 ビスケット

砂糖・卵・乳製品を使用しない、からだに優しいマクロビスイーツのビスケットは、素材の美味しさが際立ち、食べるほどに心が温かく優しくなり、その幸せを周囲に届けずにはいられない！



※ #.2 「BAKUBAKU」は、現在閉店中です。パワーアップ新装開店は、2016 年春の予定です♪

運営について

■ 実行委員

実行委員長	阿部 美樹雄（（社福）みずき福祉会 町田福祉園 ゼネラルマネージャー）
実行委員	白土 一郎（東京知的障害児・者入所施設保護者会連絡協議会 代表幹事）
実行委員	山下 望（（NPO）東京都発達障害支援協会 理事長）
実行委員	米川 覚（（社福）滝乃川学園 常務理事）
実行委員	高橋 加寿子（（特養）文京くすのきの郷 副施設長）
実行委員	渡辺 和生（（社福）みずき福祉会 八王子平和の家 施設長）
実行委員	吉村 治朗（恩賜財団東京都同胞援護会 立川福祉作業所 主任）
実行委員	倉科 直樹（ワールド化成（株）教育事業部 部長）
実行委員	佐々木 美知子（（社福）万葉の里）
実行委員	菊地 美伽（ピアニスト・ミュージックコーディネーター）
実行委員	田崎 麻里子（陶芸家）
実行委員	林 良介（（社福）みずき福祉会 町田福祉園 シニアマネージャー）
実行委員	石澤 透（精神保健福祉士）
実行委員	篠田 法正（（一社）最幸経営研究所 代表理事）
実行委員	土井 義広（（一社）最幸経営研究所 理事）
実行委員	早川 大悟（（一社）最幸経営研究所 理事）
事務局	富岡 一明（（社福）みずき福祉会 町田福祉園）
事務局	横山 健（（社福）みずき福祉会 八王子平和の家）

※各委員の所属は、講座実施当時のものです。

■実行委員会

	日 時	場 所
第1回 実行委員会	2014年1月25日(土)	(社福) 滝乃川学園 会議室
第2回 実行委員会	2014年2月28日(金)	(社福) 滝乃川学園 会議室
第3回 実行委員会	2014年3月28日(金)	(社福) 滝乃川学園 会議室
第4回 実行委員会	2014年4月18日(金)	(社福) 滝乃川学園 会議室
第5回 実行委員会	2014年5月16日(金)	(社福) 滝乃川学園 会議室
第6回 実行委員会	2014年6月20日(金)	(社福) 滝乃川学園 会議室

■会員の状況

Facebook「さぼ☆どりグループ」会員：492名（2014年12月31日時点）

2015年1月1日 発行

発行者 阿部 美樹雄（知的・発達障がい者福祉サポーターズ ドリームプラン・プレゼンテーション 実行委員長）

発行所 さぼ☆どり事務局（〒194-0203 東京都町田市図師町 971-2（社福）みずき福祉会 町田福祉園 内）

電 話 042-793-2819 / FAX 042-793-2815 / E-mail sapodori@machidafukushien.com

ホームページ http://www.machidafukushien.com/machida_fukushi/

Facebook 「知的・発達障がい者福祉サポーターズ ドリームプラン・プレゼンテーション 2014」
